

令和4年度 立川市立立川第五中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自ら進んで勉強する人になろう ○ あたたかい思いやりのある人になろう ○ よいことは進んで実行する人になろう ○ 心身ともに健康な人になろう
---------	---

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯に渡り自己実現への目的意識をもち、日々の学びと生活の中で発見した課題の解決に向けて他者と協力し乗り越えていく力と態度 ・学習で得た知識・技能、理解した内容・過程を振り返り、確実に自分の学力として定着させる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを通して、思考力・判断力・表現力を育成する。 ・指導と評価の一体化を図り、P D C Aサイクルを意識した授業計画の作成を行う。 ・挨拶や話を聞く姿勢、素早い行動、準備・片付け等の指導の徹底を通して、集団で規律を守らせる。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○社会生活に必要な知識や技能を身に付け、言語文化に親しんだり理解したりすることができる力 ○社会生活に必要な国語についての課題を見出し、課題解決に向けて協働的な学習から考えを見出し、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科や、総合的な学習との連携から授業を多角的な視野で見直し、学習指導の方法を工夫していく。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、生徒の考えを共有できる共同的な学び合いの活動の場を設ける。 ・「振り返り」を充実させ、授業内容の定着を図るとともに、生徒が自らの課題を確認し、次の学習に生かせるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に社会に関わろうとする力 ○現代社会の様々な事象について多面的・多角的に考察する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際問題などを自分事として考え、課題を解決したり、追究したりする活動を行う。 ・資料の読み取りや、少人数での話し合いを通して、多様な意見を聞き、そこから考察したり、自分の考えを他者へ説明する活動を行う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解し、基礎・基本的な計算をする能力 ○数学的な考え方を活用して、事象を論理的に考察し、表現する能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習や振り返り学習を充実させ、学習内容の定着を図る。 ・多様な演習問題や解法の共有を行い、多角的な見方や系統だった考え方ができるように、学習指導方法の工夫やICT機器の積極的な活用を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能の内容の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で理科用語、実験・観察に関する内容等の小テストを定期的に行うとともに、プリント課題・電子教材を活用して、自宅での学習習慣を身に付けさせ、学力の定着を図る。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情や音楽に対する感性 ○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、他者と協力し、音楽文化と豊かに関わる能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の中で、様々な音楽の持つ固有の価値やその多様性を理解できるようにする。 ・音楽の特性を踏まえ、主体的な学びを通して、感受する力や表現力を高める指導の工夫をしていく。

美術	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら主題を生み出し、豊かに発想し構想を練る力 ○創造活動の喜びを味わい美術を愛好する態度 ○見方・考え方の違いを感じ取り、受け入れる力 ○知識と技能の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作を通して、主体的に活動することができるように、掲示物や教材を工夫して指導する。 ・ワークシートを活用して客観的に活動を振り返り、知識の定着と思考の整理ができる授業を実践する。 ・鑑賞活動を通して、他者の考え方に触れる機会をつくる。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の役割を果たしたり、互いに協力する中で、一人一人の違いを認めたりようとする態度 ○運動における自己の課題を見つけ、合理的な解決方法を考え、他者と伝え合う力 ○全身持久力、敏しょう性（新体力テスト） ○思考・知識の言語化 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や片付け、審判などの分担した役割を果たすとともに、ペアやグループで互いに学習を援助し合い、積極的に活動できるようにする。 ・自己や他者評価で自らの課題、その解決方法を見つけるとともに、ペア、グループワークを通してさらに合理的な解決方法を考える授業を実践する。 ・長距離走の授業の充実、ウォーミングアップを工夫を図る。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度 ○授業で学習したよりよい生活の実現に向けて必要な基礎的な知識の定着や技能の習得 ○知識や技能を活かして、生活の中の課題を解決する力、生活を工夫し創造する態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れをクロムブックに視覚化し分かりやすく提示する。進度が確認しやすいように、また間違えている生徒には気付かせるよう工夫する。 ・身近な話題から授業に導入し、自分の事として生活の中の課題を見出し、課題解決できるようにする。 ・グループで学び合う学習形態を設定し、学びを深める。また家庭で実践する課題を設定する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語の知識・技能を身に付けて、伝えたいことや知りたいことを英語で表現できる力 ○外国語の背景にある文化に対して興味をもち、コミュニケーションを通して異文化を理解しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・4技能をバランスよく指導していく。スピーキングテストに備えて特に発信する力の向上を目指して指導していく。 ・パフォーマンステストを計画的に取り入れて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。 ・主体的・対話的で深い学び合いになるように、ペアワーク・グループワークの学習形態を設定する。